**2024年 4月改訂（第3版）
*2019年 7月改訂（第2版）
医療機器承認番号：22800BZX00234000

医療用品　4　整形用品
高度管理医療機器　　癒着防止吸収性バリア　（JMDNコード：34212000）

「アドスプレー」の付属品
（アドスプレー専用レギュレータ）

【形状・構造及び原理等】

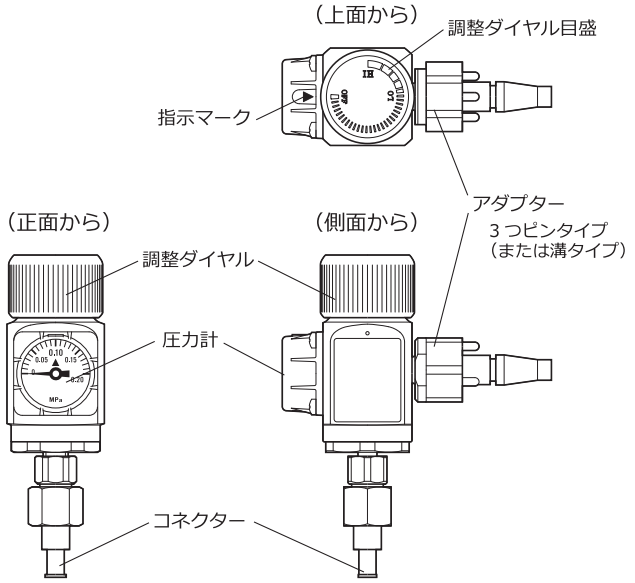
本品はアドスプレー（医療機器承認番号　22800BZX00234000）の付属品である。

**［適用品種］

・アドスプレー　ロング/レギュラー
・アドスプレー　ショート/レギュラー
・アドスプレー　ロング/ミニ
・アドスプレー　ショート/ミニ

＜構造図（代表図）＞

・アドスプレー専用レギュレータ（ピン方式）コード番号：AB-RGP
・アドスプレー専用レギュレータ（シュレーダ方式）コード番号：AB-RGS



【使用目的又は効果】

＜使用目的＞

本品は、アドスプレーの送気チューブを送気ガス供給装置へ接続する際に使用し、ガス圧力を調整することに用いられる。
なお、本体のアドスプレーは、腹部又は骨盤腔の手術患者に対して、腹部切開創下、腹膜損傷部位（腹壁、腹部臓器、子宮及び子宮付属器の損傷部位等）に適用し、術後癒着の頻度、範囲、程度を軽減するために使用するものである。

【使用方法等】

注意：送気ガス供給装置（圧縮空気）のアウトレット形状はピン方式（3つピンタイプ）またはシュレーダ方式（溝タイプ）があるため、適したアドスプレー専用レギュレータを準備すること。

送気ガス供給装置のアウトレット

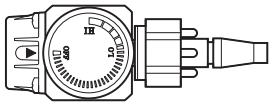


ピン方式　　シュレーダ方式

本品の送気ガス供給装置のアウトレットへの取り付け方

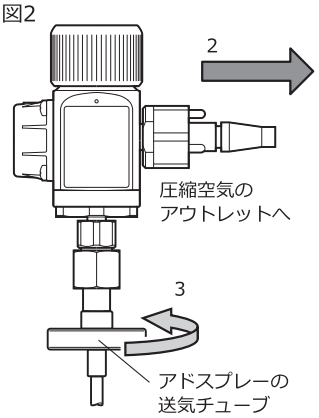
1. 調整ダイヤルの目盛［ＯＦＦ］が指示マーク［▽］の位置にあることを確認する（図1）。

図1



2. アダプターをアウトレットに取り付ける（図2）。

図2



注意：アダプターとアウトレットの形状が一致していることを確認すること。

3. コネクターにアドスプレーの送気チューブのフィルターを回転させながらまっすぐ差し込み固定する（図2）。

注意：本品を圧縮空気のアウトレット以外には取り付けないこと。

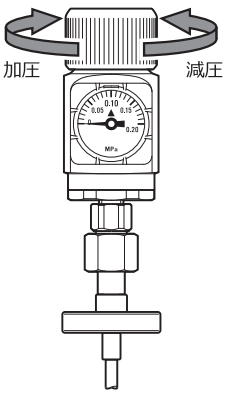
注意：取り付けは調整ダイヤルが［ＯＦＦ］の状態で取り付けること。［[ＯＦＦ］以外の位置にある場合、取り付けと同時にガスが流れる。］

注意：アドスプレーの送気チューブ接続は、アドスプレーの電子添文及び取扱説明書に従い行うこと。

圧力調整

1. 圧力計を見ながら調整ダイヤルを回し、ガスを出しながらガス圧力を0.10MPaに調整する（図3）。

図3



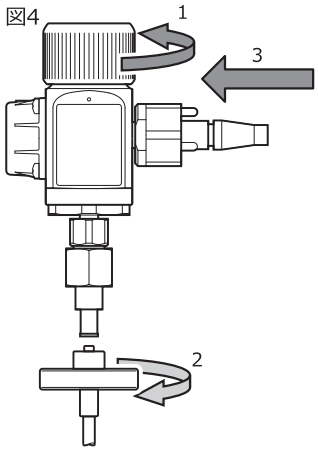
注意：調整ダイヤルはゆっくり回すこと。［急激に回すと一時的に圧力が0.15MPaを超える場合がある。なお、0.15MPaを超える状態が続いた場合は故障で

あるので、新たなものと交換すること。]

本品の送気ガス供給装置のアウトレットからの取り外し方

1. 調整ダイヤルの目盛［ＯＦＦ］を指示マーク［▽］の位置に戻す（図4）。

図4



2. アドスプレーの送気チューブのフィルターを回転させながらコネクターから外す（図4）。
3. アダプターをアウトレットから外す（図4）。

【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

（ピン方式、シュレーダ方式共通）

1. 本品はアドスプレー以外に使用しないこと。
2. アドスプレーの取り扱いはアドスプレーの電子添文及び取扱説明書を参照すること。
3. 本品を分解、改造、修理をしないこと。［本品が破損するおそれがある。］
4. 本品を落下、ぶつけないこと。［本品が破損するおそれがある。］

（ピン方式）

1. ピンが破損した場合は使用しないこと。

【保管方法及び有効期間等】

＜保管方法＞

水ぬれに注意し、直射日光及び高温多湿を避けて保管すること。

＜耐用期間＞

標準的な耐用期間：約5年

【保守・点検に係る事項】

＜保守・点検上の注意＞

安全に使用するために、点検で異常が認められた場合は、直ちに使用を中止すること。

＜使用者による保守点検事項＞

点検項目	点検時期	点検内容（概略）
使用前・使用後点検	毎回	本品の破損

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：**テルモ株式会社**

電 話 番 号：0120-12-8195 テルモ・コールセンター